

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA - I		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2 課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上りのベースを理解して身に付ける。				
到達目標	美容師国家試験第2 課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2 以上ある者 成績評価が2 以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容ベーシックB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小川 あずさ (他2名)	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、ブライダルヘアメイクアーティストとしてブライダルサロン勤務 (10年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
2	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
3	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
4	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
5	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
6	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
7	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
8	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
9	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
10	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
11	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
12	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
13	オールウェーブセッティング	テスト
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA - II		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上りのベースを理解して身に付ける。				
到達目標	美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師免許				
関連科目	美容ベーシックB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
2	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
3	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
4	オールウェーブセッティング	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティング4 H
5	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
6	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
7	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
8	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
9	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
10	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
11	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
12	オールウェーブセッティング （ワインディング）	美容衛生（技術における衛生上の取り扱い）オールウェーブセッティングまたワインディング4 H
13	総合授業	総合授業
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前川和也	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、サロン勤務、美容学校教員20年以上				

各回の展開		
回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング	エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング
2	4. 美容におけるマツサージ理論 5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	基本手技・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー 6. 用具の種類と消毒法	メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具
6	7. メイクアップ 8. プライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ一覧表 10. まつ毛エクステンション	クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト・ベースメイクのアクセントカラー・パウダリングスキンケアからベースメイクアップ、アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニク・眉の整え方、ドローイング、シェーディング リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方

11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	まとめの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
2	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
3	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカットイング・パーマネントウエーピング 重点項目振り返り
4	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
5	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ まとめを行う
6	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
7	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
9	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
10	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
11	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
12	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲西 佳代	実務経験	○		
実務内容	看護師としてICU、慢性病棟、リハビリ病棟など9年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れ 筆記試験の問題形式・問題数・問題傾向の説明 「公衆衛生の意義と課題」「公衆衛生発展の歴史」「理容師・美容師と公衆衛生」「保健所と理容業・美容業」の復習
2	1編 公衆衛生 2章 保健①	「母子保健」「成人・高齢者保健」①の復習
3	1編 公衆衛生 2章 保健②	「成人・高齢者保健」②「精神保健」の復習
4	1編のまとめ 2編 環境衛生 1章 環境衛生①	単元テストを実施→振り返り・解説 「環境衛生の概要」「空気環境」の復習
5	2編 環境衛生 1章 環境衛生②	「衣服・住居の衛生」「上下水道と廃棄物」の復習
6	2編 環境衛生 2章 環境衛生③	「衛生害虫とネズミ」「環境保全」の復習
7	2編のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論①	単元テストを実施→振り返り・解説 「人と感染症」の復習
8	3編 感染症 1章 感染症の総論②	「病原微生物」の復習
9	感染症の総論①のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の総論① 単元テストを実施→振り返り・解説 「感染症の予防」の復習
10	感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論①	感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習
11	3編 感染症 2章 感染症の各論②	「飲食物を介して感染する感染症」の復習 「血液等を介して感染する感染症」の復習
12	3編 感染症 2章 感染症の各論③	「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習
13	感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ	感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	テストを返却→振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論①	「消毒法とは」「消毒の意義」の復習 「理容・美容の業務と消毒との関係」の復習
2	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論② 消毒法総論まとめ	「消毒法と適用上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
3	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論①	「理学的消毒法・化学的消毒法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習
4	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論② 消毒法各論まとめ	「理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
5	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習①	「各種消毒薬」（消毒液の概要、器具の使い方、常備しておくことよい消毒薬と希釈液の濃度、消毒薬希釈液法）の復習
6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習②	「理容所・美容所の消毒の実際」①（理容所・美容所における消毒の原則、消毒設備、器具類の消毒法、理容師・美容師の手指の消毒） 「理美容所の清潔法の実際」②（清潔保持と清掃、洗剤による清浄法、洗い場の構造と清潔保持、清掃、刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒、ハエヤカなどの駆除）
7	消毒法実習まとめ 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	単元テストを実施→振り返り・解説 第1 目的～第4 衛生的取り扱い等①
8	第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等② 第5 消毒～第6 自主的管理体制
9	衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ	単元テストを実施→振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説
10	テスト	テストを実施する
11	国試過去問演習①	テストを返却→振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説
12	国試過去問演習②	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	国試過去問演習③	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	国試過去問演習④	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域（2編皮膚科学）に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	金城 有紀	実務経験	○		
実務内容	看護師として4年勤務				

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～7章)	感覚器、血液、循環器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第8章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
5	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
6	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造 1項 毛
7	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造 2項脂腺 3項汗腺 4項爪皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・テスト解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域（2編皮膚科学）に関する正しい知識を身につける。				
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
2	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
3	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
4	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
5	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
6	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
7	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
8	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
9	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
10	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
11	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
12	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
13	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
14	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
15	国家試験対策	国家試験前重要ポイント復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡野 佑美	実務経験	○		
実務内容	薬局にて薬剤師として8年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第1編 第1章：化粧品総論 第2章：化粧品を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから、使用する際の注意、その他
2	第3章：化粧品の成り立ち「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：化粧品の成り立ち「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：化粧品の成り立ち「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：化粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・パック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識の習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
2	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
3	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
4	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
5	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
6	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
7	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
8	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
9	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
10	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
11	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
12	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
13	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
14	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
15	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる				
評価基準	テスト（小テスト等含む）：75% 授業態度（提出物等含む）：25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 雄一郎	実務経験	○		
実務内容	高校公民、免許取得後、高校、専門、短大教師として18年間従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章・第2章の復習	国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明成績・評価の説明 第1章・第2章の復習
2	第3章の復習	第3章1節～3節「美容師になるまで」の復習
3	第3章の復習	第3章3節「美容師に求められる義務」～「管理美容師」の復習
4	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
5	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
6	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
7	まとめ	まとめを行う
8	解説・まとめ	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
10	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
11	第4章 関連法規	美容業の衛生に関する関連法規
12	第4章 関連法規	美容業の振興に関する関連法規
13	第4章 関連法規	美容業の雇用、消費者保護に関する関連法規
14	まとめ	まとめを行う
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる				
評価基準	テスト（小テスト等含む）：75% 授業態度（提出物等含む）：25%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第1章 第2章の復習	ワークブックを用いて問題演習
2	第3章の復習(1)	ワークブックを用いて問題演習
3	第3章の復習(2)	ワークブックを用いて問題演習
4	第3章の復習(3)・第4章の復習(1)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
5	第4章の復習(2)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
6	まとめ	まとめを行う
7	解説・まとめ	振り返り・解説
8	総復習(1)	国家試験過去問演習等
9	総復習(2)	国家試験過去問演習等
10	総復習(3)	国家試験過去問演習等
11	総復習(4)	国家試験過去問演習等
12	総復習(5)	国家試験過去問演習等
13	まとめ	まとめを行う
14	解説・まとめ	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘア I		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カラーリングの基礎知識を習得し実践に結び付く技術力を身に付け、コンテスト入賞にも繋がるカラー知識を得る				
到達目標	カラーの知識や技術を身につける事で美容の楽しさを理解する カラー技術を中心に作品創りをウィッグに施し一つのアートデザインを完成させる 1年生の前期からコンテスト参加の意欲を高め、入賞できる作品を時間をかけて創り出す				
評価基準	テスト40%、作品作り40%、提出物20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	知念 皓也 他	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務、サロンオーナー。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）・前期スケジュール伝達、作品鑑賞
2	カラーリング基礎知識（座学）	ヘアカラーの種類、脱色剤、染毛メカニズム、色の基本（彩色）、発色 カラーリング失敗例
3	カラーリング発色	カラーチャート作り（永久染毛剤：ヘアカラー）（脱色剤：ブリーチ）
4	カラーリング発色	カラーチャート作り（半永久染毛剤：ヘアマニキュア・カラーバター）（一時着色料：カラスプレー・ヘアマスカラ等）
5	カラーリング塗布	ヘアカラー剤 塗布練習（脱色剤：ブリーチ）
6	カラーリング塗布	ヘアカラー剤 塗布練習（永久染毛剤：ヘアカラー）（半永久染毛剤：ヘアマニキュア・カラーバター）
7	カラーリング まとめ	ヘアカラー基礎知識 筆記まとめを実施する ヘアカラー塗布 実技まとめを実施する
8	作品創り①（座学）	ヘアカラーまとめの振り返り 作品イメージ作り
9	作品創り②（座学）	作品デザイン決定
10	作品創り③	①作品制作（カラー・カット・メイク・装飾等）
11	作品創り④	②作品制作（カラー・カット・メイク・装飾等）
12	作品創り⑤	③作品制作（カラー・カット・メイク・装飾等）
13	作品創り⑥	④作品制作（カラー・カット・メイク・装飾等）
14	総まとめ	作品完成（最終確認&調整・作品取り） 総まとめ
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアII		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA-I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カラーリングの基礎知識を習得し実践に結び付く技術力を身に付け、コンテスト入賞にも繋がるカラー知識を得る				
到達目標	カラーの知識や技術を身につける事で美容の楽しさを理解する カラー技術を中心に作品創りをウィッグに施し一つのアートデザインを完成させる 1年生の前期からコンテスト参加の意欲を高め、入賞できる作品を時間をかけて創り出す				
評価基準	テスト40%、作品作り40%、提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	スケジュール確認、カット知識、ワンレングス
2	カット	ショートレイヤー
3	カット	グラデーションボブ
4	カット	ラウンドレイヤー
5	パーマ	パーマ理論、サロンスタイルパーマ
6	パーマ	スパイラルパーマ、ツイストパーマ
7	パーマ	ピンパーマ、豆ロッド
8	撮影	相モデルで撮影会
9	撮影	相モデルで撮影会
10	ウィッグ作成	ウィッグ作成（カット・カラー・パーマ）
11	ウィッグ作成	ウィッグ作成（カット・カラー・パーマ）
12	テスト練習	カット練習、カット座学・パーマ座学振り返り
13	テスト	カット実技テスト、カット・パーマ座学テスト
14	卒業制作	ウィッグ作成（カット・カラー・パーマ）
15	卒業制作	ウィッグ作成（カット・カラー・パーマ）

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	作品づくりに意欲的に取り組み、既存の技術プラス新しい発想を持てる力を身に付ける				
到達目標	今まで得た知識をもとに様々なジャンルのメイクに挑戦し、時間内に収めることができる				
評価基準	テスト40%、作品作り40%、提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	知念 皓也 他	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務、サロンオーナー。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）・前期スケジュール伝達、作品鑑賞
2	カラーリング基礎知識（座学）	ヘアカラーの種類、脱色剤、染毛メカニズム、色の基本（彩色）、発色 カラーリング失敗例
3	カラーリング発色	カラーチャート作り（永久染毛剤：ヘアカラー）（脱色剤：ブリーチ）
4	カラーリング発色	カラーチャート作り（半永久染毛剤：ヘアマニキュア・カラーバター）（一時着色料：カラスプレー・ヘアマスカラ等）
5	カラーリング塗布	ヘアカラー剤 塗布練習（脱色剤：ブリーチ）
6	カラーリング塗布	ヘアカラー剤 塗布練習（永久染毛剤：ヘアカラー）（半永久染毛剤：ヘアマニキュア・カラーバター）
7	カラーリング テスト	ヘアカラー基礎知識 筆記テストを実施する ヘアカラー塗布 実技テストを実施する
8	作品創り①（座学）	ヘアカラーテストの振り返り 作品イメージ作り
9	作品創り②（座学）	作品デザイン決定
10	作品創り③	①作品制作（メイク・装飾等）
11	作品創り④	②作品制作（メイク・装飾等）
12	作品創り⑤	③作品制作（メイク・装飾等）
13	作品創り⑥	④作品制作（メイク・装飾等）
14	総まとめ	作品完成（最終確認&調整・作品取り） 総まとめ
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	作品づくりに意欲的に取り組み、既存の技術プラス新しい発想を持てる力を身に付ける				
到達目標	今まで得た知識をもとに様々なジャンルのメイクに挑戦し、時間内に収めることができる				
評価基準	テスト40%、作品作り40%、提出物20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	白塗り	説明・デモ・デッサンシート作成・実践
2	白塗り①	相モデル実習①
3	白塗り②	相モデル実習②
4	模写メイク（傷メイク含）	説明・デモ・デッサンシート作成・実践
5	模写メイク（傷メイク含）	相モデル実習②
6	アニマルメイク	説明・デッサンシート作成・実践
7	アニマルメイク	相モデル実習
8	トレンドメイク	説明・デモ デッサンシート作成
9	トレンドメイク	相モデル実習
10	テスト	相モデル実習
11	テスト	相モデル実習
12	作品制作	グループ分け・デッサンシート作成 * 3人1グループとなり担当制で施術 * ヘアメイク同時進行で60分仕上げ
13	作品制作	
14	作品制作	
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステについて理解し、装着ができるようになる カットの種類を学び、理解する				
到達目標	まつ毛エクステ検定に合格できるようにする カット技術の定着				
評価基準	テスト50% 授業態度25% 提出物25%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上のもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	美容師国家資格(座学)				
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	秋廣 桃香	実務経験	○		
実務内容	アイリストとしてサロン勤務し、美容学校講師として、美容実習、まつ毛エクステ技術などを担当5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	【理論】 道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
2	【実技】 ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
3	【理論】 衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
4	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
5	【理論】 保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
6	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
7	【理論】 保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
8	【実技】 テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
9	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
10	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
11	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
12	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
13	【理論】 テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
14	まとめ	実技のまとめを行う
15	まとめ	実技・筆記のまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA-I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステについて理解し、装着ができるようになる カットの種類を学び、理解する				
到達目標	まつ毛エクステ検定に合格できるようにする カット技術の定着				
評価基準	テスト50% 授業態度25% 提出物25%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上のもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	美容師国家資格(座学)				
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	秋廣 桃香	実務経験	○		
実務内容	アイリストとしてサロン勤務し、美容学校講師として、美容実習、まつ毛エクステ技術などを担当5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	後期の技術の流れを伝える
2	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
3	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
4	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
5	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
6	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
7	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
8	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
9	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
10	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
11	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
12	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
13	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
14	国家試験第一課題	国家試験課題 タイム測定
15	総まとめ	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	シャンプーの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーの違いを知る				
到達目標	シャンプーの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける				
評価基準	シャンプー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10% フリー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	坂井 心平	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用法、シャンプープロセスの理解
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習
4	シャンプーイング	プレシャンプー
5	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス
8	シャンプーイング まとめ	シャンプーイング まとめを実施する 1シャンプー～トリートメントプロセス 振り返り
9	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
10	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
11	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント・ヘッドスパ（プロセス）
12	シャンプーイング 総まとめ	シャンプーイング 総まとめを実施する 2シャンプー、スカルプトリートメント 振り返り
13	シャンプーイング	ブロー・コテ仕上げ
14	シャンプーイング	ブロー・コテ仕上げ
15	総合授業	シャンプー技術振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブII		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA-I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	45
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	シャンプーの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーの違いを知る				
到達目標	シャンプーの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける				
評価基準	シャンプー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10% フリー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ヘッドスパ	ヘッドスパ (リラクゼーションマッサージ)
2	ヘッドスパ	ヘッドスパ (リラクゼーションマッサージ)
3	ヘッドスパ	ヘッドスパ (リラクゼーションマッサージ)
4	ヘッドスパ	ヘッドスパ (リラクゼーションマッサージ)
5	ヘアアレンジ	ウィッグ作成
6	ヘアアレンジ	ウィッグ作成
7	ヘアアレンジ	ウィッグ作成
8	ヘアアレンジ	ウィッグ作成
9	ヘアアレンジ	ウィッグ作成
10	ヘアアレンジ	ウィッグ撮影
11	ヘアアレンジ	ウィッグ撮影
12	ヘアアレンジ	相モデル撮影
13	ヘアアレンジ	相モデル撮影
14	総合まとめ	振り返り
15	総合まとめ	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる				
到達目標	希望する企業に内定をいただき、社会人としての自覚を持つ				
評価基準	テスト：50% 授業態度：50%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	なし				
関連科目	就職対策Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩 (他5名)	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務 (9年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	学校生活に関するマナー	マナールールを理解する
2	求人票の見方・サロン調べ	求人票に何が書いてあるかを理解し、自分の希望するサロンを調べる
3	履歴書の書き方①	履歴書の基本情報（左側・資格情報）を記入する
4	履歴書の書き方②	自己PRを考える
5	履歴書の書き方③	自己PRを仕上げる
6	履歴書の書き方④	志望動機を考える
7	履歴書の書き方⑤	志望動機を仕上げる
8	報告書・お礼状の書き方	サロン見学や受験後の報告書・内定先へのお礼状の書き方を学ぶ
9	電話のかけ方・メールの指導	就職希望先・就職先への電話のかけ方やメールの送り方について再度確認をする
10	面接練習①	面接の入退室の練習 試験官と面接者をグループを作り練習する
11	面接練習②	志望動機や自己PRなどを実際に話してみる
12	試験対策①	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
13	試験対策②	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
14	試験の実施	試験の実施
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックA-I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる				
到達目標	希望する企業に内定をいただき、社会人としての自覚を持つ				
評価基準	テスト：50% 授業態度：50%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	なし				
関連科目	就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉歩（他5名）	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（9年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	学校生活に関するマナー	再度確認を実施する
2	就職に向けての意識付け①	就職未決定者：就職スケジュールを立てる 就職決定者：入社するにあたり、残りの学校生活をどのように送るのかの目標を立てる
3	就職に向けての意識付け②	就職未決定者：就職スケジュールを立てる 就職決定者：入社するにあたり、残りの学校生活をどのように送るのかの目標を立てる
4	社会人としての基礎力をあげる①	社会人として必要なビジネスマナーを学ぶ
5	社会人としての基礎力をあげる②	社会人としての自覚をもつために
6	社会人としての基礎力をあげる③	新入社員の時に心がけることを学ぶ
7	目標設定①	3年間の自分を振り返る
8	目標設定②	2年後・5年後の自分を考える
9	目標設定③	3年間の自分を振り返り、2年後・5年後の自分をみんなにプレゼンテーションする
10	将来に向けて①	接客について考える
11	将来に向けて②	人前で話すことに慣れる（お題を決めて1分間スピーチの練習）
12	試験対策①	ビジネスマナーについて
13	試験対策②	商品売るトークの練習（就職する職種によりさまざま考える）
14	試験を実施	25分 ビジネスマナーについて 20分 1分間の商品売るトーク
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックB		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	3	90
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩（他5名）	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（9年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識 V		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識 V		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	将来、美容師として活躍する人のベースとなる『美』について学ぶ 美容に関わる歴史を学び、歴史・習慣の中から生み出され求められる美しさを知る 美容経営者として活躍するうえで必要とする知識の基礎を理解する				
到達目標	概要に基づいて、美容の歴史を習得する 美容師国家試験に合格できる知識を習得 自信で生活の中から知識や理論を深める事ができる				
評価基準	小テスト・テスト：70% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・運営管理 呉屋倫子				
担当教員	呉屋 倫子	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務(8年)、運営管理免許取得				

各回の展開		
回数	単元	内容
1	<運営管理> 第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節～第6節	経営を定義、経営の必要性を教える 経営の捉え方、経営資源とは、経営計画とはを教える 経営戦略とは何か/良い店の実現を教える
2	<運営管理> 第2章 理容業・美容業の経営について 第1節～第4節 第3章 資金の管理 第1節～第6節	業界の概要/競争と方向性の変化を教える 美容業界のサービスについて教える 資金管理の重要性と資金を教える
3	<運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第1節～第6節	各税金と、従業員に対する労務管理を教える モチベーションの上げ方/給与/待遇と福利厚生について教える 労働者の権利、健康で安全な職場環境について教える 美容業の責任について教える
4	<運営管理> 第3編 顧客の為に 第1章 サービス・デザイン 第1節～第5節	人の価値と顧客の価値の多用性について教える
5	<運営管理> 第2章 マーケティング 第1節～第6節	マーケティングの短期的要因について教える
6	<運営管理> 第3編 顧客の為に 第3章 サービスにおける人の役割 第1節～第10節	サービスのシステム化と接客について教える 接客の実践について教える 接客トラブルの対応、クレームや事故への対策・対処処理方法について教える
7	まとめ	授業習得度の確認(運営管理)
8	<文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和20年まで・1945～1950年代の髪型・服装・化粧についての髪型について
9	<文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和20年まで・1945～1950年代の髪型・服装・化粧についての髪型について
10	<文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代II(1960～1970年代)	1960～1970年代の髪型・化粧・服装について
11	<文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
12	<文化論> 第3章ファッション文化史日本編 まとめ	まとめ・習熟確認
13	<文化論> 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装・洋装の礼装について
14	まとめ	テスト(文化論)
15	まとめ	テスト(運営管理、文化論)